健康と信頼をお届けする

日清製粉グループ

第２四半期決算説明会
＝2011年4月～9月＝

2011年11月4日

株式会社日清製粉グループ本社

2011年度第2四半期決算

健康と信頼をお届けする
日清製粉グループ

**製粉事業における、拡販に向けた施策費の投入及び
ふすま価格の低迷等により減益**

	2011年9月 実績（百万円）	業績 見通し比	前年比
売上高	214,587	▲1.9%	＋2.6%
営業利益	10,421	▲7.0%	▲15.8%
経常利益	11,892	▲2.5%	▲13.1%
四半期純利益	6,677	▲4.6%	▲3.7%

2011年度通期業績見通し

下期は出荷拡大、コスト削減等により収益回復を見込むものの、第2四半期決算を踏まえ、通期業績見通しを修正

（百万円）

	2011年3月 実績	2012年3月 見通し	前年差	前年比
売上高	424,156	446,000	＋21,844	＋5.1%
営業利益	25,335	23,600	▲1,735	▲6.8%
経常利益	27,839	26,000	▲1,893	▲6.6%
当期純利益	14,187	14,000	▲187	▲1.3%

中期経営計画策定について

中期経営計画 ①

策定方針

名称は「NNI－120、スピードと成長、拡大」

NNI・・・New Nisshin Innovation

2012年度から2014年度の
3ヵ年の中期経営計画を策定

創業120周年となる2020年を見据えて、長期的な
視点に立った当社グループの基本戦略を策定

中期経営計画 ②

策定方針

「NI活動」は、当社グループが1987年から2001年にかけて取り組んだ経営計画（行動計画）で、当社グループの成長の道筋をつけるとともに、その変革と実行の精神は現在も受け継がれている

＊「NI活動」の基本理念
「企業は変革することによってのみ生存し、発展できる」
「骨太でイノベーティブな集団に成長する」

「NI活動」の基本理念は今の時代にこそ求められており、これを改めて当社グループの旗印として掲げる

中期経営計画 ③

策定方針

2020年に向けた2つの旗印

「NI活動」の基本理念に加えて、
「スピード」と「成長、拡大」を2020年に向けた
当社グループの新たな旗印として掲げる。

NNI ＝ New Nisshin Innovation

中期経営計画 ④

策定方針

【数値目標】

・近い将来　グループ売上高・・・・1兆円

・売上高1兆円達成時

海外売上高比率・・・30%以上

営業利益・・・・・・・・・500億円

ROE ・・・・・・・・・・・・8%以上

の達成を目指す

中期経営計画 ⑤

基本戦略の骨子

4つの基本戦略をベースとし目標達成

1. トップライン拡大を最優先戦略と位置付け、重点分野に経営資源を集中的に投入

2. コア事業の基盤強化と、成長分野の積極的拡大

3. M&A、アライアンスをスピード感を持って積極的に実行

4. 安全・安心な製品を生産・供給するとともに、コスト競争力の確保・強化に取り組む

中期経営計画 ⑥

基本戦略の骨子

1. トップライン拡大を最優先戦略と位置付け、重点分野に経営資源を集中的に投入

トップライン（売り上げ）拡大を最優先戦略と位置付けて事業ポートフォリオの再構築を実行し、当社グループの「成長、拡大」に向けて事業の選択と集中を進め、重点分野に経営資源を集中的に投入

特に新規海外事業拡大の実現に最優先で注力

中期経営計画 ⑦

基本戦略の骨子

2. コア事業の基盤強化と、成長分野の積極的拡大

製粉、加工食品をコア事業として基盤をさらに強化し、中食・惣菜、酵母・バイオ、健康食品、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス等の成長分野を積極的に伸ばす

中期経営計画 ⑧

基本戦略の骨子

3．M＆A、アライアンスをスピード感を持って積極的に実行

海外、国内において、製粉、加工食品、ミックス、パスタ、ベーカリー関連ビジネス等のM＆A、アライアンスをスピード感を持って積極的に行う

・M＆A、アライアンスをスピーディーに実行できる社内組織 を整備・強化し、必要な人員を重点的に配置
・M＆A、アライアンスの決定に際しては、客観的な調査・分析を十分に行ったうえで、一定のリスクを積極的に取りに行く覚悟を持って決断

中期経営計画 ⑨

基本戦略の骨子

3．M＆A、アライアンスをスピード感を持って積極的に実行

新規海外事業拡大の実現に最優先で注力し、
海外売上高比率30%以上を達成する

- 主なターゲットエリアは東南アジア、中国、北米とするが、その他の国・エリアも排除せず検討
- 国際化に対応できる人材を育成し、海外展開に重点的に人員を配置する

中期経営計画 ⑩

基本戦略の骨子

4. 安全・安心な製品を生産・供給するとともに、コスト競争力の確保・強化に取り組む

・構造改善等により戦略的なコストダウンを推進して、ボーダレスな市場で勝ち抜けるコスト競争力を確保

・メーカーとして自立した、強い工場現場力の育成・強化

・時代の要請に基づいた品質保証体制を維持・強化するとともに環境政策を推進

中期経営計画 ⑪

基本的な考え方

【中期経営計画の策定・実行における姿勢】

社員に求めるキーワードは「Fight, Speed＆Change！」

全事業会社、全社員が、環境認識、進むべき方向性について
常にベクトルを合わせ、戦う組織、戦う集団として着実に前進

「まず課題を明確に設定し、次に課題を認識し共有化した上で、期限を決めて実行する」、というNIの原点に基づき施策を立案・実行

「変化しないのが最大のリスクである」と認識し、アンテナを高くして新たな発想で新しい考え・領域に積極的に挑戦

スピード感を持って時代の変化、取り巻く状況の変化に的確に対応
すべての判断、行動をスピーディーに行い、成長、拡大を目指す

中期経営計画 ⑫

基本的な考え方

【中期経営計画の策定・実行における基盤】

法令遵守、食品安全、環境保全等の社会的責任を果たし、ステークホルダーから積極的に支持される企業グループであり続ける

主要食糧である小麦粉等の安定供給を確保し、安全な製品を供給するという当社グループの社会的使命を果たす

社員一人ひとりが当社グループの社員であることに誇りを持ち、自信を持って仕事に取り組んでいく会社を目指す

中期経営計画 ⑬

策定方針、基本戦略の骨子、基本的な考え方に基づき、
今後3年間の各事業の具体的な戦略を策定。

中期経営計画の詳細については、改めてご説明します。

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。